九州地青だより NO.47

JR貨物労組のHPはこちら

天険若夷（てんけんじゃくい）

２０２６年９月１２日
発行責任者　菅野　拓哉
ＪＲ貨物労組九州地本青年部

会社の横暴を許さない！！

全国複数の駅でも同様の“抜き打ち”実施を確認！
「安全最優先の職場」を守るため、職場から声をあげよう！！

“サプライズテスト”に不安の声続出！！

この情報読みましたか？

☜ 組織部速報（No.6，9，10 をチェック！）

☜ 本部青情報（No.3，5 をチェック！）

関東支社内のある駅において「作業実態確認」・「訓練」という名目で、操車担当の進路要求に対して**管理者の指示のもと「意図的に通告と異なる進路を構成（復唱は通告された進路を復唱）」して、操車担当が異線現示に気が付くかチェックするという「サプライズテスト※」**が行われたという報告がありました。

もし異進路が構成されていることに気づかずに誘導を続けていたら…。
その先に別の車両が留置されていたり、車止めまでの距離が近かったら…。

会社は不安全行動を意図的に起こし、組合員の人命を危険にさらしました。
これは、要員不足の中でも日々鉄道貨物輸送の安全確保のために奮闘する組合員を裏切る行為に他なりません！

※**サプライズテスト**…１９６２年に発生した三河島事故の後に発足した「事故防止委員会」にて、当時の国鉄当局は乗務員や信号掛の指導訓練について、**基本訓練**と異常時訓練を内容とする**個人別指導**と**実行監査（サプライズテスト；個人別業務知悉度を調査するテスト）**を行うことを提案。これに対して当時の労働組合は、労働者の人格を無視するものとして反対、結果として国鉄当局はサプライズテストを撤回した。

NEXT：九州地本の組合員の声は？ ☞

「サプライズテスト」の情報を受けた九州地本組合員の声！

リスクが大きすぎる！
ダイヤが密なので、進路を取り直すのに時間がかかるから他の作業に影響が出る！

信号と操車、両方同時に作業帯同する必要があり、助役にそれだけの余裕がない！！

普段から進路の取り間違えや急な作業変更（番線変更）がある場合がある。
こんなテストをされたらテストなのかミスなのか分からない！

今回営業列車をテストに使ったとのことだが、そこに載っている荷物の荷主様に
このテストの説明を求められたら会社は何と答えるのか？

会社は南長岡駅の事故から何も学んでいない！事故に遭った青年部員のご両親が
このテストの事を聞いたら何と思うか？

異線現示に気づかず誘導を開始してしまったら操車の責任にするつもりか？
テストを行なう中で事故が発生したら職場の管理者の責任にするつもりか？

会社はこれを“訓練”と言っているようだが、訓練は訓練の時間を確保した上で行うべき！！
実作業の中で行うのは訓練ではない！！

九州の管理者はこんなおかしなことをしないと信じている。

みなさんはどう思いますか？

JR貨物労組は、「サプライズテスト」のような抜き打ち的手法は職場の安全文化と人間関係を破壊するとして、会社に対して直ちにやめるよう訴えています！

今回の事象をそれぞれの職場で語り合い、自分自身と仲間を労災から守るために「**何でも言い合える職場風土づくり**」にむけて取り組みを進めていきましょう！！

もしもの時の「よろず相談フォーム」開設！！

根岸（ねぎし）本部青年部長

官野（かんの）九州地本青年部長

もしも職場でサプライズテストが行われたら…。

他にも何か労働組合に報告・相談したいことがあれば、まず**分会や地本の役員に相談**してみましょう！

職場に役員がいなかったり、役員に相談しずらいときは、**本部青年部の「よろず相談フォーム」（☞）を活用してください！** 中央本部・根岸青年部長がお答えします！

JR貨物労組九州地青